

## 神奈川県立岩戸支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立岩戸支援学校における第2回学校運営協議会	
開催日時	令和7年10月21日(火)9時30分~11時10分	
開催場所	神奈川県立岩戸支援学校 会議室	
出席者	神奈川県立岩戸支援学校 学校運営協議会委員9名※本校校長含む 神奈川県立岩戸支援学校 教職員9名	
次回開催予定日	令和7年11月18日(火)	
問い合わせ先	神奈川県立岩戸支援学校 副校長 小倉 裕之 Fax 046-849-3200 電話 046-839-4502	
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過	<p>1 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に岩桜祭が実施された。約600名の来校者があった。</li> <li>・7月の津波警報、9月の線状洪水帯の発生と、近年の災害への対応の重要性を痛感している。</li> <li>・岩戸町内会の花火大会や岩戸町民運動会での太鼓部の演奏など地域との繋がりが深まっている。</li> </ul> <p>※谷 和之 委員の後任の石丸 文洋 委員の紹介を行った。</p> <p>2 学校評価部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和7年度 学校評価(中間評価) <ul style="list-style-type: none"> <li>・副校长より学校評価の5つの視点について、中間評価の報告を行った。</li> </ul> </li> <li>○学部、グループからの報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業運営グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業の年間授業計画について検証し、ブラッシュアップしている。また、一人一品教材展を開いた。</li> </ul> </li> <li>②管理運営グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす用の担架を使用した訓練やARゴーグルを使用した煙の疑似体験をした。また、防災ミーティングを実施した。</li> </ul> </li> <li>③教育支援グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩桜祭のオープニングセレモニーでは、生徒が活躍できる場面があった。ICT機器については、教育用クイズツールの活用が進んでいる。</li> </ul> </li> <li>④支援連携グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業と語ろう in いわと」では、地域の保護者、学校から多数の参加があった。JRCの活動では、地域の高校の生徒との交流などを行っている。</li> </ul> </li> <li>⑤肢体不自由教育部門 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別教育計画の作成後の進捗状況を確認する機会を設けていく。ICT機器については、音楽の授業で、アプリを活用している。</li> </ul> </li> <li>⑥知的障害教育部門 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会を実施した。若手の対応力を高めることやベテランの経験や知識を伝えることにつなげていきたい。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別教育計画で立てた目標と年間指導計画や授業との関連性について、また、取り組む中での課題などが話題に挙がった。</li> </ul> </li> </ul> <p>3 切れ目ない支援部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横のつながりグループでは、防災ミーティング、町内会の防災訓練の様子、土砂災害に関する情報共有等の必要性などについて、縦のつながりグループでは、「企業と語ろう in いわと」、学校の個別教育計画と企業側のマニュアル、就労準備性などについて共有・協議した。</li> </ul>	